

不義無道に對して菅氏兄弟は何処までも正義の立場から生活権擁護の爲、又菅氏の同僚東日出張所主任二百餘名の將來の爲、よき菅氏はその踏石となつて倒れしとせし。敢て敢ておぼけたらぬと堅い決意の下に火蓋を切つたのである。

すると翌十五日日本社から管理課長廣谷氏が新主任千葉氏外數十人を同伴して出張し更に日本橋出張所に來り、又三田出張所にも同じく新主任の井氏外數十名を同道強引連れ來り無理引越し兩渡を断行せんとした。強硬に拒絶した。午後四時頃刊が到着した。護衛諸君に御迷惑をおかけまいと申し、故に配達すると新主任等は本社應接の下に八十數名の配達を召集して菅氏等の配達の跡をつけ同時に両店と多數の力で無理に占據してしまつたのである。菅氏等の配達員等の配達も跡をつけられ、強引に占據され、小冊に憤慨し、配達を中止し、本社の手を貸さぬ。菅氏は此の態度に飽く迄反對し、菅氏等の正しい立場を擁護し、不法なる東日本社脅威に共に立ち上つて、口民生生活防衛同盟の指導應援下に斗争する。止むなきに至つたのである。

社風に合はぬと云つて、菅氏兄弟は五年も六年も勤続し、本社の爲粉骨砕心、誠心誠意、護者獲得に、社業發展に、職員の努力を惜しまず、何一つ指圖され、ことごとく一兵も置き、新南業界に於ける模範店生の譽高々人達を、本社が、マフテ、あるやうな借金や便ひを、身に抱へ、職員の眞相を、拒否し、本社が、テ、嚴正なる報導、職員の便命を、完全にする。職員の眞相を、拒否し、本社が、テ、つたのである。

國賊三菱財團の魔手が延びるに随ひ、新南本まつ、使命を死守し、前東日取締役會長城元亮氏が財團の命を断せ、排し、職員の眞相を、拒否し、本社が、テ、つたのである。

城元亮氏が財團の命を断せ、排し、職員の眞相を、拒否し、本社が、テ、つたのである。

城元亮氏が財團の命を断せ、排し、職員の眞相を、拒否し、本社が、テ、つたのである。

城元亮氏が財團の命を断せ、排し、職員の眞相を、拒否し、本社が、テ、つたのである。

城元亮氏が財團の命を断せ、排し、職員の眞相を、拒否し、本社が、テ、つたのである。

城元亮氏が財團の命を断せ、排し、職員の眞相を、拒否し、本社が、テ、つたのである。

城元亮氏が財團の命を断せ、排し、職員の眞相を、拒否し、本社が、テ、つたのである。

道徳的に、社会的に、断じて許さざるべきで、早く軍手を、東日一社員の、生死の問題、て、行く。

菅氏兄弟と共に、解雇し、生活権を奪ひ、菅氏等、二十數名の家族を、即日、一分の猶、後、おぼく、叩き、おし、踏頭、に、迷は、す、か、如、き、東、日、本、社、の、威、力、を、暴、行、に、対、し、て、我、等、の、憤、慨、を、禁、ず、る、事、が、出、ま、ら、ぬ、我、等、は、こ、の、悲、憤、に、燃、ゆ、り、以、て、大、く、受、護、者、氏、民、諸、君、に、訴、へ、請、願、の、正、し、き、批、判、を、願、ふ、と、共、に、正義、の、為、に、生活、権、擁、護、の、爲、に、奮、闘、す、る、事、を、誓、ひ、し、て、置、く、事、は、な、し、ま、す。

長、い、間、擁、護、を、請、願、す、る、に、及、ぶ、大、なる、御、迷惑、を、か、け、た、る、を、深く、お、詫、言、ひ、申、上、す、と、同、時、に、今、後、も、受、護、者、諸、君、及、争、議、団、附、近、の、市、民、諸、君、に、種、々、御、迷惑、を、か、け、る、事、は、思、ひ、が、何、卒、秋、々、の、立、場、を、諒、と、さ、れ、お、詫、言、し、を、願、ふ、と、同、時、に、正義、の、斗、争、に、絶、大、なる、御、声、援、と、賜、は、ら、ん、事、を、お、願、ひ、し、て、お、詫、言、す、と、同、時、に、受、護、者、諸、君、及、争、議、団、の、御、聲、援、を、請、願、す、る、事、を、誓、ひ、し、て、置、く、事、は、な、し、ま、す。

- ▽口賊三菱財團の支拘東京日々新聞を叩きつせ。
- ▽正義を愛し暴虐なる財團を憎む市民は東京日々新聞を讀む行。
- ▽東京日々新聞争議団萬歳。

口民生生活防衛同盟  
 東京日々新聞

争議団  
 本部 日本橋区堀越四二一九  
 五等部 世田谷区三田四四一ノ八

受護者 各位